

富士見町景気動向調査報告書

～小規模事業者・中小企業者景況基本調査～

2025年（令和7年）4月から6月

1 調査期間 2025年4月～6月（第1四半期）

2 調査対象 富士見町内小規模事業者・中小企業者

3 回答状況

製造業	7社
建設業	2社
飲食業	1社
小売業	2社
観光業	3社
サービス業	1社
計	16社

4 調査項目 ① 3か月前と比べて
② 前年同期と比べて
③ 3か月後の見通し
※ 経営者が受注額（販売額）・売上高・営業利益等から主観的に判断しています。

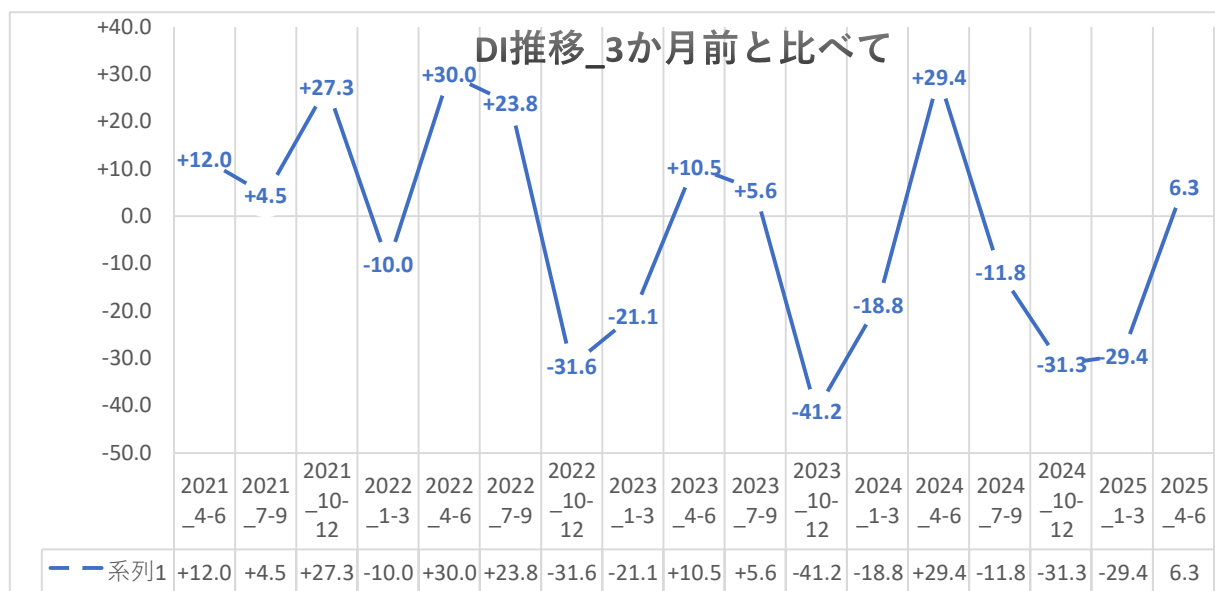
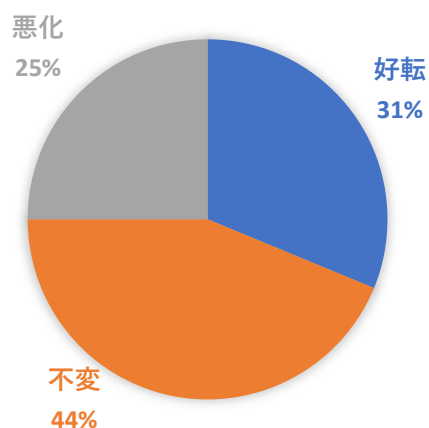
5 業況DI（Diffusion Index）とはゼロを基準として、プラスの値で景気の上向きを表し、マイナスの値で景気の下向きを表しています。

Volume 17

主管 ふじみまち産業振興センター

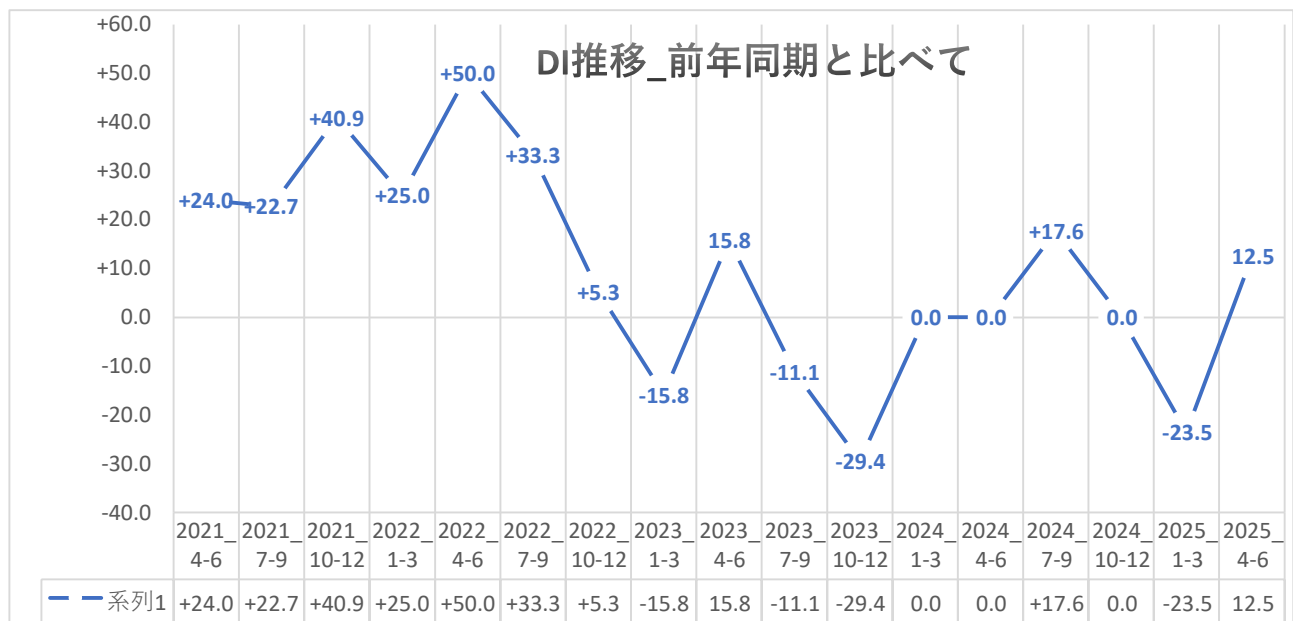
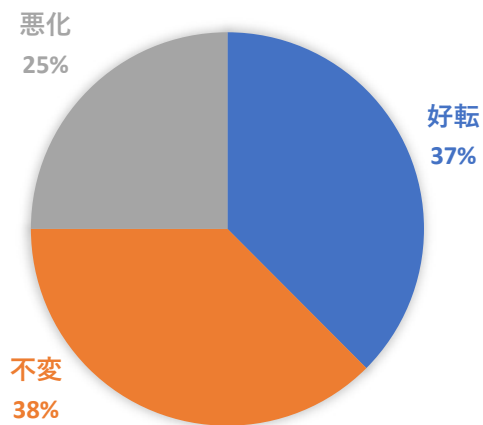
<調査項目① 3か月前と比べて>

		好転	不変	悪化	計	業況DI	前回調査比
全体	実数	5	7	4	16		↗
	構成比	31.3%	43.8%	25.0%		+6.3	
製造業	実数	3	2	2	7		↗
	構成比	42.9%	28.6%	28.6%		+14.3	
建設業	実数	0	0	2	2		↘
	構成比	0.0%	0.0%	100.0%		-100.0	
小売業	実数	0	1	0	1		↗
	構成比	0.0%	100.0%	0.0%		0.0	
飲食業	実数	1	1	0	2		↗
	構成比	50.0%	50.0%	0.0%		+50.0	
観光業	実数	0	3	0	3		↗
	構成比	0.0%	100.0%	0.0%		0.0	
サービス業	実数	1	0	0	1		↗
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%		+100.0	



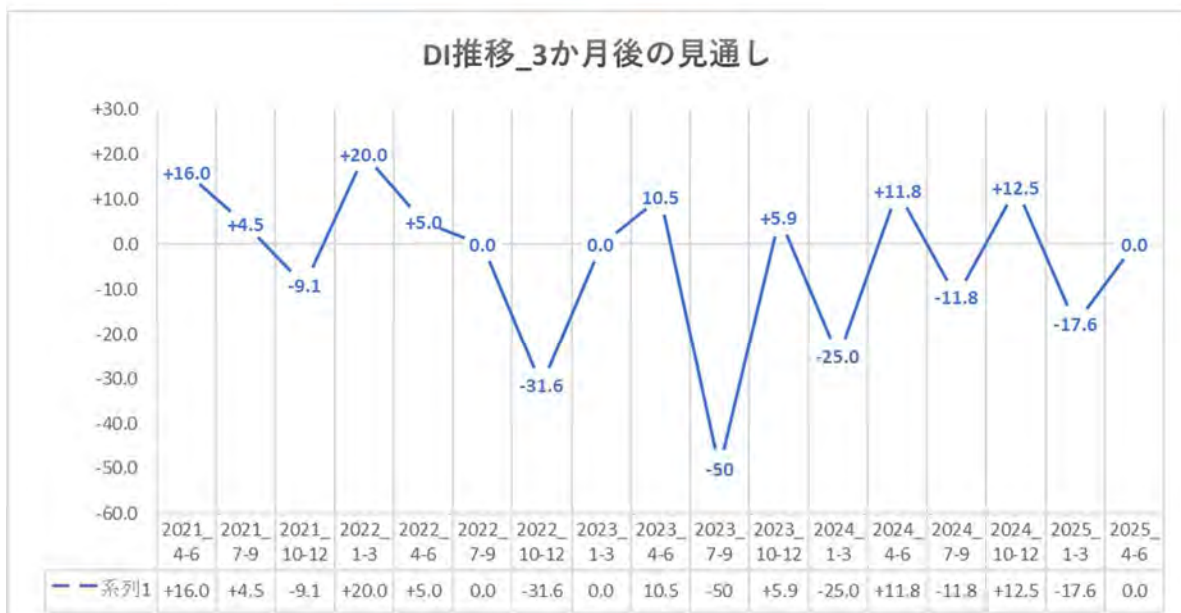
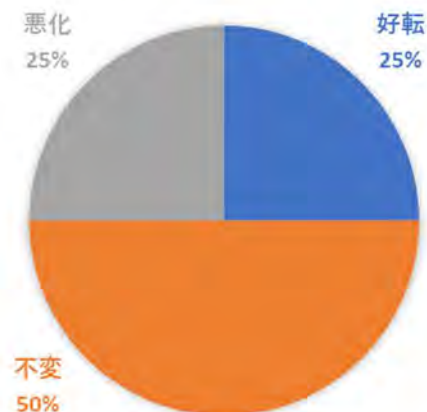
<調査項目② 前年同期と比べて>

		好転	不変	悪化	計	業況DI	前回調査比
全体	実数	6	6	4	16		
	構成比	37.5%	37.5%	25.0%		+12.5	
製造業	実数	3	3	1	7		
	構成比	42.9%	42.9%	14.3%		+28.6	
建設業	実数	1	0	1	2		
	構成比	50.0%	0.0%	50.0%		0.0	
小売業	実数	0	1	0	1		
	構成比	0.0%	100.0%	0.0%		0.0	
飲食業	実数	1	1	0	2		
	構成比	50.0%	50.0%	0.0%		+50.0	
観光業	実数	0	1	2	3		
	構成比	0.0%	33.3%	66.7%		-66.7	
サービス業	実数	1	0	0	1		
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%		+100.0	



<調査項目③ 3か月後の見通し>

		好転	不変	悪化	計	業況DI	前回調査比
全体	実数	4	8	4	16		↗
	構成比	25.0%	50.0%	25.0%		0.0	
製造業	実数	1	3	3	7		↘
	構成比	14.3%	42.9%	42.9%		-28.6	
建設業	実数	0	2	0	2		→
	構成比	0.0%	100.0%	0.0%		0.0	
小売業	実数	0	1	0	1		↗
	構成比	0.0%	100.0%	0.0%		0.0	
飲食業	実数	2	0	0	2		↗
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%		+100.0	
観光業	実数	1	2	0	3		↗
	構成比	33.3%	66.7%	0.0%		+33.3	
サービス業	実数	0	0	1	1		↗
	構成比	0.0%	0.0%	100.0%		-100.0	



<経営者の眼(見方)>

事業主コメント	業種
売上・利益ともに順調です。	製造業
悪天候の影響を受けた3カ月となった。	観光業
10月以降の見通しが立っていないのが不安である。	製造業
売上面では7月頃から引き合いが弱く、極端な猛暑と物価高による影響と分析。仕入関係はトランプ関税による間接的な影響で輸入木材の値上がりが収益圧迫要因に。今後は極端な景気冷え込みの懸念はないものの年末に向けての金利上昇が景気にマイナスとなることが心配。	建設業
現時点では安定しているように見解するが、多様変化がある為予測不能。想定していた社会情勢より遅れが出ているように感じます。	製造業
周辺環境変化が大きいのでなるべくスピード感を持って対応することが必要だと思う。	小売業
6月までは例年通りでしたが、7月以降かなりの受注減になっています。トランプ関税の影響なのか判りませんが、設備投資に関して停滞感を感じています	製造業
売上は前年並みですが、原材料費や経費人件費の上昇に伴い資金繰りは悪化しています。コストを吸収しきれないため、勝手ながら7月から値上げさせていただく予定です	飲食業
夏季は春から比べて好転はするが、前年比で3割～5割の予約数が減少。秋以降の予約はほぼ動いていない。客層のターゲットを少し変えたので一概に不景気のせいとは言い切れないが。	観光業
都市部で暑さが厳しい日は問い合わせが増えます。ただ、チャンスに対応できない。高齢化でせっかくのチャンスも活かさない。富士見なりの酷暑で、無理すると命取りになってしまう。	観光業
どうにか公共工事が取れたので、少し息ができます。(2)はマイナスになった工事が2件ありました。	建設業
例年、4月はゴールデンウィーク前まで来客が落ち込む。スキーシーズンとグリーンシーズンの狭間というのも大きいと思う。全体的には前年よりも上回った。今後の3ヶ月は一番観光客も増える時期なので忙しくなると思うが、個人店にとっては対応できるキャパが限られており、毎年観光客が食事をする場所に困ってる様子が見られる。なるべく多くのお客様に来店してもらえるように工夫はしているが限界も感じる。	飲食業